

ウクライナ・オデーサ市のトゥルハノフ市長が横浜市を訪問！ ～横浜市会で議場演説を行います～

横浜の姉妹都市であるウクライナ・オデーサ市から、ゲネディー・トゥルハノフ市長が、戦後の復興支援等に関する要請及び協議等のため横浜市を訪問されます。

横浜とオデーサは、1965（昭和40）年の姉妹都市提携以降、60年近く交流を深めており、ロシアによるウクライナ侵略に際しても、横浜市は国連に認定されたピースメッセンジャー都市として、市民・企業・関係機関等の皆様と一体となり、オール横浜で支援を続けています。

トゥルハノフ市長の横浜訪問の機会を捉え、次のとおり横浜市会本会議場での演説を実施します。

1 横浜市会本会議場でのオデーサ市長による演説

日時：3月16日（木）11:20-12:00

場所：横浜市会本会議場（横浜市中区本町6-50-10）

趣旨：横浜市からオデーサへのこれまでの支援のお礼及び戦後復興に向けた更なる連携強化などについて

※議場演説の様子はインターネット中継でもご覧いただけます。

<参考>

- 令和4年2月：
ロシアのウクライナ侵略に対して抗議する横浜市会議長のコメントを発出
- 令和4年第1回定例会：
「ロシアによるウクライナへの侵略を非難するとともに、国際紛争における武力行使の根絶を求めること」について全会一致で決議
- 令和4年3月：
ウクライナにおける人道支援のために、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に対して横浜市議員から義援金を贈呈

2 取材について

取材いただける場合は、当日11時までに、本会議場内7階記者席にお越しください。

参考 ゲネディー・トゥルハノフ市長略歴

1965年1月17日	オデーサ生まれ
1993年～1996年	セキュリティ会社で勤務
2001年～2004年	海外資本のセキュリティ会社の局長顧問
2005年～2014年	オデーサ市議員 他
2014年5月	オデーサ市長に就任



■横浜市とオデーサ市の連携

横浜市とオデーサ市は、共に戦火による焦土の中から復興したこと、国際港湾都市であることをご縁として、1965年に姉妹都市提携を行い、医療・スポーツ交流や市民団体訪問等の交流を続けています。

市民、企業、民間団体等の皆様と力を合わせて、オール横浜でウクライナから避難された方々のサポートに取り組んでいます。昨年夏にはオデーサ市の柔道クラブの子どもたちの一時避難を受け入れました。

また、現地人道支援として、移動式浄水装置や防寒対策物資の供与等の支援を行っています。

<これまでの主な支援の様子>



オデーサ市の柔道クラブに所属する子どもたちの一時避難の受入れの様子（2022年8月）



オデーサ市の要請により供与した移動式浄水装置が活用されている様子（2023年1月）

■横浜市ウクライナ支援ポータルサイトの開設

このたびのオデーサ市長の横浜市訪問の記事も盛り込んだ、横浜市のウクライナ支援の取組を総合的に紹介するポータルサイトを3月23日（木）に開設します。

URL : <https://www.ukraineportal.city.yokohama.lg.jp/>



お問合せ先

(オデーサとの連携について)	国際局国際連携課欧州米州担当課長	江成 政義	Tel 045-671-4721
(議場演説について)	議会局政策調査課長	山根 伸哉	Tel 045-671-3006